

1. さしあこ
2. ばずいひ
3. くけすつ
4. のきるじ

ごへ主な
といエ
くわス主
にのはは
すしいわ
さオずれ
むンこら
こののに

の
世かき
にをしの
あわわす
あがれべ
わこらて
がこをを
たろい受
まよのけ
し覚ちと
いめにり

いひみし
かたち
ですびび
さらくた
まのたま
よぞめい
うめにて
みみみと
くくかわ
ににみの
のにい

むさよの
かちりち
うをてを
たなよわ
びがみか
じこがち
をこえあ
すろりた
すとたえ
めしりぬ

イエスは彼女に言われた。「なぜ泣いているのですか。だれを捜しているのですか。」彼女は、それを園の管理人だと思って言った。「あなたがあの方を運んだのでしたら、どこに置いたのか教えてください。そうすれば私が引き取ります。」イエスは彼女に言われた。「マリヤ。」彼女は振り向いて、ヘブル語で「ラボニ（すなわち、先生）。」とイエスに言った。

5

死の勝利いずこ？ 愛するイエスは
われらを滅ぼす 罪の鎖を
断ちてわれらを 自由となしぬ！

6

見よ黄泉の長の 勝ち誇りたる→
第二の死は今 力はあらず。
主は苦しみに 打ち勝ちませり。

7

愛する主イエスの 墓にぞ立てる
いともうるわしき 凱旋門よ
「イエスは生くる」と そこに記さるる。

8

さればわれは死を もはや恐れず
主が生きたまえる 如くわれ生く！
地に飲まるとも 連れ帰りたもう。

9

今ヨブのごとく われは知り得ぬ
わが救い主は 生きたまえるを
主に呼ばれなば 墓より昇らん。

10

われ唯主イエスを 愛し続けん。
主はわれを抱き 守りたまわん
道に先立ち 導きたもう。

11

わが古き人は もはや死にたり
今よりわが身に 主よ生きたまえ
御霊によりて われ進みゆかん。

12

おお主よなが死は わが死の折の
唯一の慰め。主イエスよいかに
なが贖いを われ謝しまつらん！

13

おおいかなる声 われらと呼ぶらん
「死せる者起きよ 昇り来たれ！」と
裂けたる墓に ラッパの音響かん。

14

その時すべての 塵生き返り
われは新しき 刻印を受け
輝く様に またく変えられん。

15

愛する主イエスよ この慰めは
ながよみがえりに よりて来たれり：
なが命こそ わが命なり！